

かみだまち  
上田町地区命山完成見学会の  
開催について

◆ 平 野 秀 直\* ◆

1. はじめに

静岡県湖西市の上田町地区は、浜名湖西岸に位置しており、江戸時代の五街道のひとつである東海道の新居宿として栄えた旧新居町の北西部にあります。旧新居町には、全国で唯一現存する関所建物で、国の特別史跡に指定されている新居関跡があります（図-1）。

新居関所は、慶長5年に創設された当初、遠州灘の浜名湖開口部である今切口近くにありましたが、地震や津波により、現在の場所に移ったと言われており、この地域は、古来より自然災害の影響を受けてきたと言えます。その関所から南に500mほどの場所に、このたび津波対策として上田町地区の命山が整備されました。

当地区周辺は、県の第4次地震被害想定南海トラフ巨大地震における津波浸水区域内であるこ



図-1 位置図

とから、平成26年度の津波被害の対策を検討する「静岡モデル推進検討会」（湖西市）において、当地区における急傾斜地崩壊対策事業に合わせた、津波に対する避難路や避難場所の整備が提案されました。

これを受け、市と県が一体となり、平成27年度から特定利用斜面保全事業に着手し、がけ崩れ対策による斜面の安定化、津波避難地の確保及び建設発生土の有効活用といった一挙三得につなげる事業として、命山の整備を進め、令和4年2月に完成しました。

本稿では、上田町地区特定利用斜面保全事業等の概要及び完成見学会について報告します。

2. 上田町特定利用斜面保全事業等の概要

- 1) 特定利用斜面保全事業（県施工）（図-2、3）  
事業期間 平成27年度～令和元年度  
事業内容 切土工61,500㎡
- 2) 市単独事業  
事業期間 令和2年度～令和3年度  
事業内容 階段工，斜路工，避難地整備工等
- 3) 命山の概要  
命山高さ8m（海拔13m）  
避難地面積1,880㎡（避難可能人数3,760人）  
総事業費 468百万円（防災倉庫等を除く）
- 4) 事業の経過  
・平成26年度 静岡モデル推進検討会において事業の提案

\* Hidenao Hirano 静岡県交通基盤部河川砂防局砂防課傾斜地保全班主査

**対策イメージ図**



図-2 特定利用斜面保全事業イメージ図

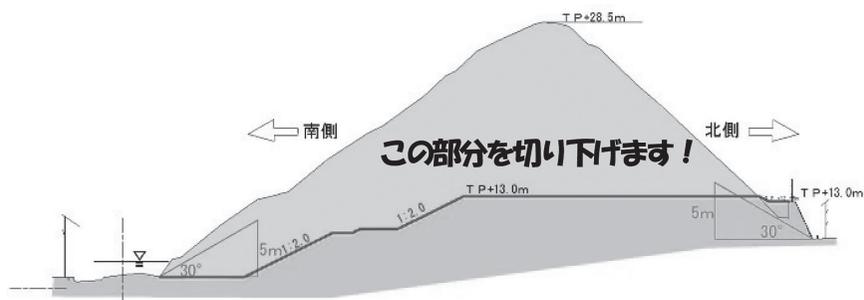


図-3 横断面図

- ・平成27年4月 特定利用斜面保全事業に着手
- ・平成28年10月 県と市が基本協定書を締結
- ・平成29年3月 切土工に着手(写真-1)
- ・平成30年3月 切土工で搬出された土砂を活用した住吉地区命山が完成(上田町地区から南東へ約900m)
- ・令和3年2月 切土工が完成
- ・令和4年2月 命山が完成(写真-2)



写真-1 着工前



写真-2 完成



写真-3 完成見学会の様子



写真-4 影山剛士湖西市長



写真-5 廣瀬聡浜松土木事務所長



写真-6 疋田隆橋本自治会会長

### 3. 完成見学会の開催

令和4年3月12日(土)に、「上田町地区命山完成見学会」が開催されました(写真-3)。完成見学会では、湖西市の影山剛士市長から「長い年月をかけてここまで来れた。急傾斜の解消、避難場所の整備及び建設発生土の活用に加え、平時は地域の憩いの場として活用できる一石四鳥の命山となった。昨日、3月11日で東日本大震災から11年だが、完成した命山は防災に役立てていきたい」という挨拶がありました(写真-4)。そして、浜松土木事務所の廣瀬聡所長の挨拶の後、地元地区の代表として橋本自治会の疋田隆会長より「幼稚園も近いので、普段から有意義に活用していきたい。活用することによって、完成した命山に命を吹き込んでほしい」という祝辞を頂きました(写真-5、6)。

完成見学会は、静岡県全域に「新型インフルエ

ンザ等対策特別措置法に基づくまん延防止等重点措置」が実施されている中での開催となったため、規模を縮小し、地区の代表者及び市と県の関係者あわせて約20人が参加しました。

### 4. おわりに

当日は天気にも恵まれ、春らしい暖かな陽気の中で完成見学会が開催されました。命山には、避難面上がるための階段やスロープが設置されていますが、幼稚園側は園児が直接命山へ駆け上がることができるよう、緩い勾配で斜面が整備されています。完成見学会では、参加者がその斜面を上りながら、歩き心地を試している姿も見られました。

整備された命山は、市内の津波避難施設としては最大のものとなりましたが、この命山が有事の時のみならず、日常時にも地域の方々の憩いの場として活用されることを願っております。